

海外短信



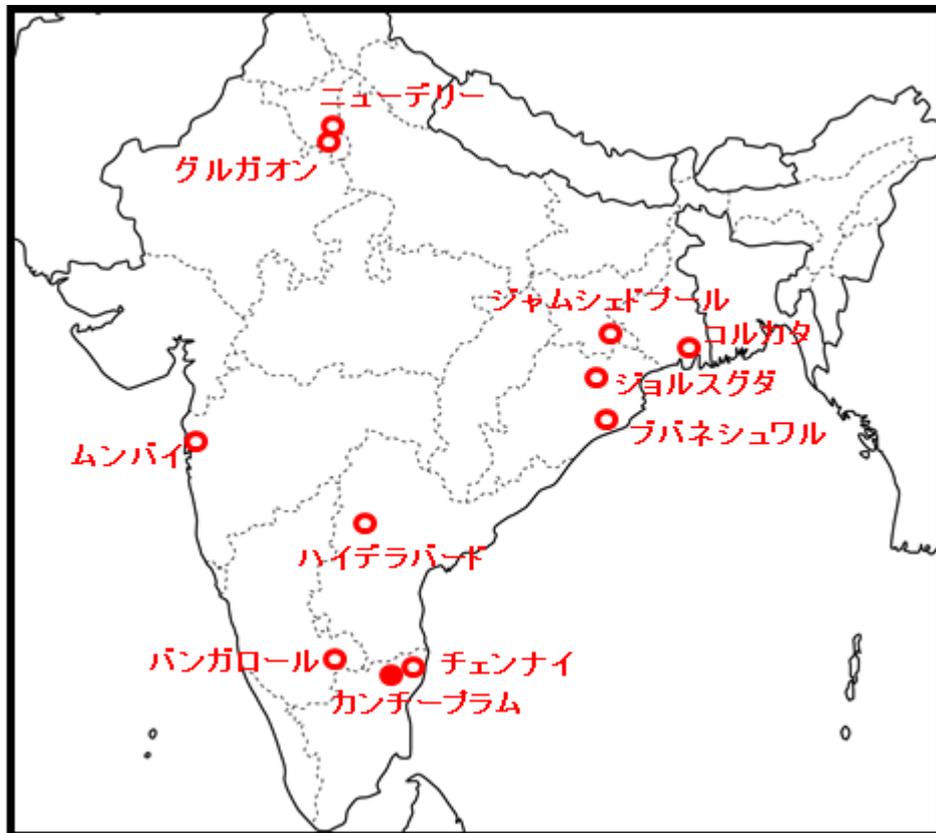
～ インド ～

駐在生活の始まり

三菱製鋼(株) (MSM Spring India Pvt.Ltd.)

弊社はかねてより自動車用巻ばね及びスタビライザの技術援助を実施してきた現地企業とさらなる関係強化を目的として2014年4月に合弁会社を設立、10月から会社のあるインド南部チェンナイ市の隣にあるカンチープラム市で本格的な駐在生活が始まりました。既に駐在されている諸先輩を差し置きおこがましいのですが、この3ヶ月の体験をそのまま記載させていただきます。

インド着任後は、顧客及び仕入先への訪問のために、すぐに様々なところへ行くことができました。チェンナイ、カンチープラム、ニューデリー、グルガオン、ムンバイ、コルカタ、バンガロール、ハイデラバード、ジャムシェドプール、ブバネシュワル、ジョルスグダといったところです。飛行機で30時間、鉄道で40時間、車で50時間といった移動距離で、とにかくインドの大きさとインフラがまだまだ整備途上であることを痛感しました。



訪問した各都市

飛行機では離陸前に添乗員が殺虫剤をまいている姿に驚きました。乗客の頭の上にかかっていますが、驚いているのは私だけで他のインド人は平然としていました。

鉄道はどの駅も混沌としており、列車が到着してから初めてどの車両に乗るかがわかります。かなり長い車両編成で自分が乗る車両を間違えると大変です。ホームの端から端まで走ったこともあります。列車で5～20時間ぐらいの移動は当たり前のように行われています。車に乗っていた時ですが、コルカタで駅からホテルへ行く途中、運転手が無理に人ごみの中を通ろうとすると、通行人が手に持っていた棒で車をたたきだし、運転手と通行人が喧嘩を始めました。運転手に無視するように伝えてもなかなか收拾がつかず、怖い思いをしました。また運転手からここは有名な川だと説明され、同乗者が写真を撮り始めたら、いきなりパトカーに横付けされて写真のデータを消すようにと言われたこともあります。その際も警察官と運転手が喧嘩を始めて、結局なぜ写真を消さなければならなかったのか未だに理由は不明です。

インドの交通渋滞は有名な話ですが、インフラ面だけでないと思っています。運転手は行き先がわからなくても出発します。道がわからなければ、細い一方通行でも通行人に聞いてまわります。教える方もその人がわからなければ他の人に聞いて回るので、なかなか出発できず、渋滞となります。人が良いといえればそれまでですが、あまり他の人の迷惑を考えず、頼まれたらできるだけのことをしてあげようという気持ちが強いようです。

一番苦労すると思っていた食生活は、幸いにもそれほど抵抗なく、インドのカレーを受け入れることができました。北と南では味が大きく違うと言われているようですが、恐らくそれだけではなくもっと様々な違いがあると感じています。カレーだけでなくワインも様々なものがあると聞いているので、これからいろんなカレーやワインを試してみようと思っています。



会社のランチ



インドのビールとワイン

チェンナイ近郊は約 1,000 人の日本人が駐在していると聞いています。皆さんいろんな苦労をされているため、駐在を開始した人を助けようという意識が強く、多くの親切な方々と知り合うことができました。

駆け出しの駐在生活であり、またこれからは今までの3か月間の体験が間違っていたと感じる機会もでてくると思います。まずはインド文化にはまってみようと思っています。